

第45回三重大学 歴史研究会大会

三重大学歴史研究会大会を、次のように開催します。午前は学生の研究報告で、3本の報告を予定しています。

午後は高校世界史教科書の執筆者の一人である東京大学の杉山清彦先生(中国近世史、大清帝国史)、本会の藤田達生先生(日本中世・近世史、織豊時代史)を講師にお迎えし、シンポジウムを開催します。テーマは、東アジアの近世国家で、16～17世紀に東アジア各地域に興った新政権の特徴や成立の背景を中心に、東洋史・日本史それぞれの立場から御講演いただきます。現在学校現場で教えられている歴史教育をふまえつつ、最先端の研究内容をお話いただいた後、来場者からの質問も含めた討論を行う予定です。

学生部会のみ、シンポジウムのみでの参加も可能です。みなさまの幅広い御参加をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

日時：2016年1月30日(土)

会場：三重大学 総合研究棟Ⅱ 2階 会議室2・3

参加費：無料(資料代のみ) ※会員以外の方は資料代(300円)をお願いします。

大会日程(8:30 受付開始、9:15 開会)

9:30 学生部会報告(～11:40)

「藤堂家に関わった炮術師・鉄炮隊像」・「唐宋における犬食の南北比較」・「中国における七夕の伝説と現在の行事」

13:00 シンポジウム(～16:10、途中休憩あり)

東アジアの近世国家—大清帝国と江戸幕府—

杉山 清彦 氏(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

「近世東アジアの二つの武人政権—大清帝国と江戸幕府—」

藤田 達生 氏(三重大学教育学部教授)

「日本近世国家形成と東アジア」

討論

主催 三重大学歴史研究会

後援 三重大学教育学部

お問合わせ 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学教育学部歴史学研究室内

大坪(三重大学教育学部) TEL 059-231-9219 E-mail: otsubo@edu.mie-u.ac.jp

三重大学歴史研究会について

三重大学歴史研究会は、昭和25年(1950)三重大学学芸学部(現教育学部)社会科歴史学専攻の教員・学生を中心に設立されました。現在では、卒業生はもちろんのこと、県内外の歴史学研究者・地域史研究者の幅広い御支援をたまわり、機関誌『ふびと』を毎年発行するなどの活動を行っております。